

# 山口県感染症発生週報

(第46週:平成23年11月14日～11月20日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

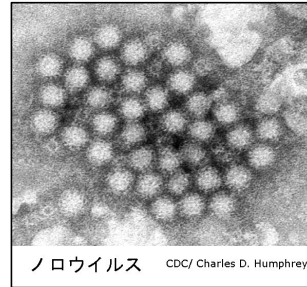
◆**結核**: 第42週追加:1例(萩)。第43週追加:1例(周南)。第46週:5例(下関1例、柳井1例、周南3例)。

### 【3類感染症】

◆**腸管出血性大腸菌感染症**: 第46週:1例(長門 O157:VT1VT2)。

### 【5類感染症】

◆**クロイツフェルト・ヤコブ病**: 第46週:1例(宇部)。



## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ◆**インフルエンザ**: 患者発生報告が山口、周南、岩国からありました。ほとんどが山口からの報告です。迅速検査では、A型陽性21例、臨床診断3例でした。山口市では集団発生により、11月22日に学級閉鎖をした小学校もあります。
- ◆**RSウイルス感染症**: 過去4年間の同時期と比較して多い状況で推移しています。全国的にも例年と比較して多い状況ですので注意が必要です。
- ◆**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 増加傾向がみられます。【警報レベル=長門】※
- ◆**感染性胃腸炎**: 増加しています。特に山口、周南で報告が多く警報レベルです。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので今後の動向に注意が必要です。【警報レベル=山口、周南】※
- ◆**水痘**: 増加しています。特に防府でやや多く注意報レベルです。【注意報レベル=防府】※
- ◆**伝染性紅斑**: 過去4年間の同時期と比較して4年ぶりに多い状況が続いています。柳井ではやや多い状況です。
- ◆**マイコプラズマ肺炎**: 報告数が多い状況が続いていましたが、今週は先週と比較してやや減少しました。全国的にも例年と比較してかなり多い状況ですので引き続き注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuinfo.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	44週	45週	46週	疾患名	44週	45週	46週
インフルエンザ	27	17	24	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	71	42	49	ヘルパンギーナ	8	11	3
咽頭結膜熱	7	8	7	流行性耳下腺炎	32	27	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	104	104	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	456	481	558	流行性角結膜炎	4	0	4
水痘	43	40	75	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	38	16	24	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	15	15	16	マイコプラズマ肺炎	9	13	5
突発性発しん	47	45	48	無菌性髄膜炎	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	1	0	1	0	22	0	0	0	24
RSウイルス感染症	21	7	1	7	3	5	1	4	0	49
咽頭結膜熱	0	3	1	0	1	1	1	0	0	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	13	7	17	2	18	8	13	11	104
感染性胃腸炎	47	38	5	195	40	141	64	19	9	558
水痘	19	8	6	9	12	5	9	6	1	75
手足口病	3	11	1	2	2	1	0	0	4	24
伝染性紅斑	1	1	6	4	0	2	1	1	0	16
突発性発しん	15	1	1	11	2	9	6	3	0	48
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
流行性耳下腺炎	11	2	1	1	1	1	0	0	0	17
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	1	0	1	0	1	1	0	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0